

長者原園地 将来ビジョン

施設の今後のあり方

移譲

・自然景観や生態系の保全の推進等を目的とした本施設は、令和元年度に九重町に移譲した長者原オートキャンプ場との一体的な管理が望ましいため、九重町への移譲を行う。

目指すべき
施設像

阿蘇くじゅう国立公園内の豊かな自然に触れ、生物多様性の大切さや自然環境保全の重要性を認識する機会となる施設

※移譲までの間は、国立公園を訪れた方が散策するなど自然に親しみつつ休憩できる場所として管理

目指すべき
利用者像

福岡・熊本からのアクセスの良さも活かした、県内・県外在住者

※移譲までの間は、自然に触れる機会を求める、次のような当施設・近隣施設の利用者を想定
①キャンパー、登山者 ②自然愛好家
③サイクリスト ④ワーケーション利用者

定量的目標
達成指標

国立公園内の一部として捉え、園地単独での定量的目標は設定しない。

定性的目標
達成指標

自然環境の適正な維持管理、施設利用者の安全性・快適性の維持のため、最低限の施設整備を行う。

移譲までの主な課題と解決策

【課題】

駐車場の舗装など長者原園地内の施設が傷んできている。

【解決策】

安全な駐車場利用のための舗装補修や、快適な園内散策のための草刈り等を実施する。